

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	オーダーメイド医療の実現プログラム		担当部局庁	研究振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成29年度		担当課室	研究振興戦略官付		研究振興戦略官 阿蘇 隆之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	がん・生活習慣病等の国民の健康に特に影響を与える疾患について、全国55病院の協力によるオールジャパン体制で関連遺伝子の探索・解明等を行い、個人個人に最適な予防・治療を提供することを可能とする医療の実現を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第1期事業(平成15年度～平成19年度)で収集した、世界最大規模の約30万症例の血液サンプルや臨床情報(バイオバンク・ジャパン)を活用し、がん、生活習慣病リスクに関連する疾患関連遺伝子・薬剤応答性遺伝子の確定、生活習慣などの環境要因を発見し、これらの成果を予防・診断・治療への展開に繋げるため、疾患関連遺伝子研究等を推進するとともに、ELSI(倫理的・法的・社会的な取り組み)についての調査研究を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	5,220	-	-	
		繰越し等	-	-	▲ 5,120	5,120	-	
		計	2,027	1,560	1,660	6,550	3,187	
	執行額	2,027	1,560	1,660	-	-		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	発見された疾患関連遺伝子候補及び薬剤関連遺伝子候補の数(累積)			件	51	177	258	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	発表論文数			本	43 (-)	36 (-)	33 (30)	- (30)
単位当たりコスト	論文1本当たりのコスト 68(百万円/本)		算出根拠	単位当たりコスト=H24までの投入費用(10,774百万円)/H24までの論文数(158本)				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	1,429.2百万円	3187.0百万円	新しい日本のための優先課題推進枠 1,600百万円				
	職員旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	委員等旅費	0.3百万円	0.2百万円					
	諸謝金		0.1百万円					
	計	1,429.7百万円	3187.5百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当事業は、第4期科学技術基本計画及び日本再興戦略等において重要事項として位置付けられており、健康長寿社会の実現に資するものである。したがって、国として事業の進捗を管理しながら推進する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	競争的資金による事業ではないが、一部研究課題については、HP等で周知した上で公募を実施し、その妥当性や競争性を確保している。また、研究予算の重点化を検討するなど、コスト削減に努めている。 なお、委託費の交付決定に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	当事業は、研究の推進に当たって、遺伝子や血清のバンクのための機器・施設が継続的に必要となるため、国が拠点を定めて集中的に整備することで、効率的かつ実効性の高い運用を行っている。 また、研究内容については、プロジェクトリーダーの進捗管理および推進委員会による評価を行うことで、着実な実施に努めている。 当事業において、抗てんかん薬カルバマゼピンの副作用等の、同定された3つの薬剤関連遺伝子が、臨床介入研究に繋がるなど、見込みに見合った成果を出している。また、大学や研究機関との共同研究において、整備された機器・施設が活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	○平成24年度には、第三者の有識者からなる事後評価委員会を開催し、事後評価の結果を踏まえて24年度後半の予算配分を行い、効果的な事業運営を実施した。また、我が国全体のゲノム研究を見据え、バイオバンクジャパン及び疾患関連遺伝子研究のあり方について検討を行った結果を踏まえ、重点化するべき事項に予算配分を行った。					
	○上記評価や検討の結果を踏まえ、引き続き、効率的な予算の執行について、適宜見直しを図っていく。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点: 本事業は、オールジャパン体制で個人の遺伝情報に応じた医療の実現を目指し、遺伝子研究等を行う研究開発に関連した公募型事業であり、契約・執行手続等の観点から検証を行った。					
	2. 所見: 本事業は、平成22年度レビュー等の指摘を踏まえ、24年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったほか、事後評価の結果を踏まえた予算配分を行うことなどにより効率的に事業を実施したことは評価できる。引き続き、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	本事業については、平成25年度より、課題選考にあたって委員を決定する際に、利害関係調査を行い、最終的な審査領域を決めることとするなど、契約の公平性を図っている。今後も競争参加条件等の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努めるとともに、引き続き、拠点への適正な予算配分を図ることで、事業の更なる効率的・効果的实施に努める。					
備考						
事業のHP:「オーダーメイド医療の実現プログラム」 http://www.biobankjp.org/						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0268	平成23年	0253	平成24年	0267

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
1,660百万円

委員等旅費等 0.9百万円を含む

疾患関連遺伝子研究、ELSI課題を審査・選定し、プロジェクト全体のマネジメントを実施

【随意契約・委託】

A. バイオバンクの運営・遺伝子多型情報の高度化
1,460百万円
大学・病院等(全14機関)

20万人30万症例のDNA・血清・臨床情報を集めたバイオバンク・ジャパンの運営、データベース構築

【公募・委託】

B. 疾患関連遺伝子研究・ELSIに関する検討
199百万円
大学・病院等(全37機関)

疾患関連遺伝子研究の推進、ELSI(倫理的・法的・社会的な取り組み)についての調査研究の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.独立行政法人理化学研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員に係る人件費	34			
業務実施費	消耗品費(試薬類、理化学機材類)	84			
	国内旅費、外国旅費	2			
	雑役務費(遺伝子型判定等)	420			
	印刷製本費、電子計算機諸費、消費税相当額	3			
一般管理費		17			
計		560	計		0
B.国立大学法人東京大学			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務実施費	消耗品費(試薬類、理化学機材類)	20			
一般管理費		2			
計		22	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人理化学研究所	疾患関連遺伝子等の探索を効率化するための遺伝子多型情報の高度化	560	随意契約	-
2	医療法人徳洲会	血清サンプルおよび臨床情報の収集	314	随意契約	-
3	国立大学法人東京大学	バイオバンクの構築と臨床情報データベース化	217	随意契約	-
4	学校法人日本医科大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	97	随意契約	-
5	順天堂大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	86	随意契約	-
6	学校法人日本大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	62	随意契約	-
7	学校法人岩手医科大学	血清サンプルおよび臨床情報の収集	32	随意契約	-
8	公益財団法人がん研究会	血清サンプルおよび臨床情報の収集	18	随意契約	-
9	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	血清サンプルおよび臨床情報の収集	16	随意契約	-
10	株式会社麻生飯塚病院	血清サンプルおよび臨床情報の収集	16	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	22	企画競争	-
2	独立行政法人科学技術振興機構	科学技術振興による研究開発の推進に関する支援業務	13	企画競争	-
3	財団法人日本公衆衛生協会	先端医学研究に関する倫理的・法的・社会的課題についての調査研究	12	企画競争	-
4	学校法人東京女子医科大学	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現	9	企画競争	-
5	国立大学法人名古屋大学	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現	9	企画競争	-
6	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現	9	企画競争	-
7	国立大学法人東京大学	B型肝炎ウイルス感染に対する応答性の遺伝的要因	9	企画競争	-
8	国立大学法人東京大学	C型肝炎における肝線維化進展・発癌に関連する遺伝子多型の解析	8	企画競争	-
9	国立大学法人九州大学	メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	6	企画競争	-
10	学校法人東京医科大学	メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	6	企画競争	-